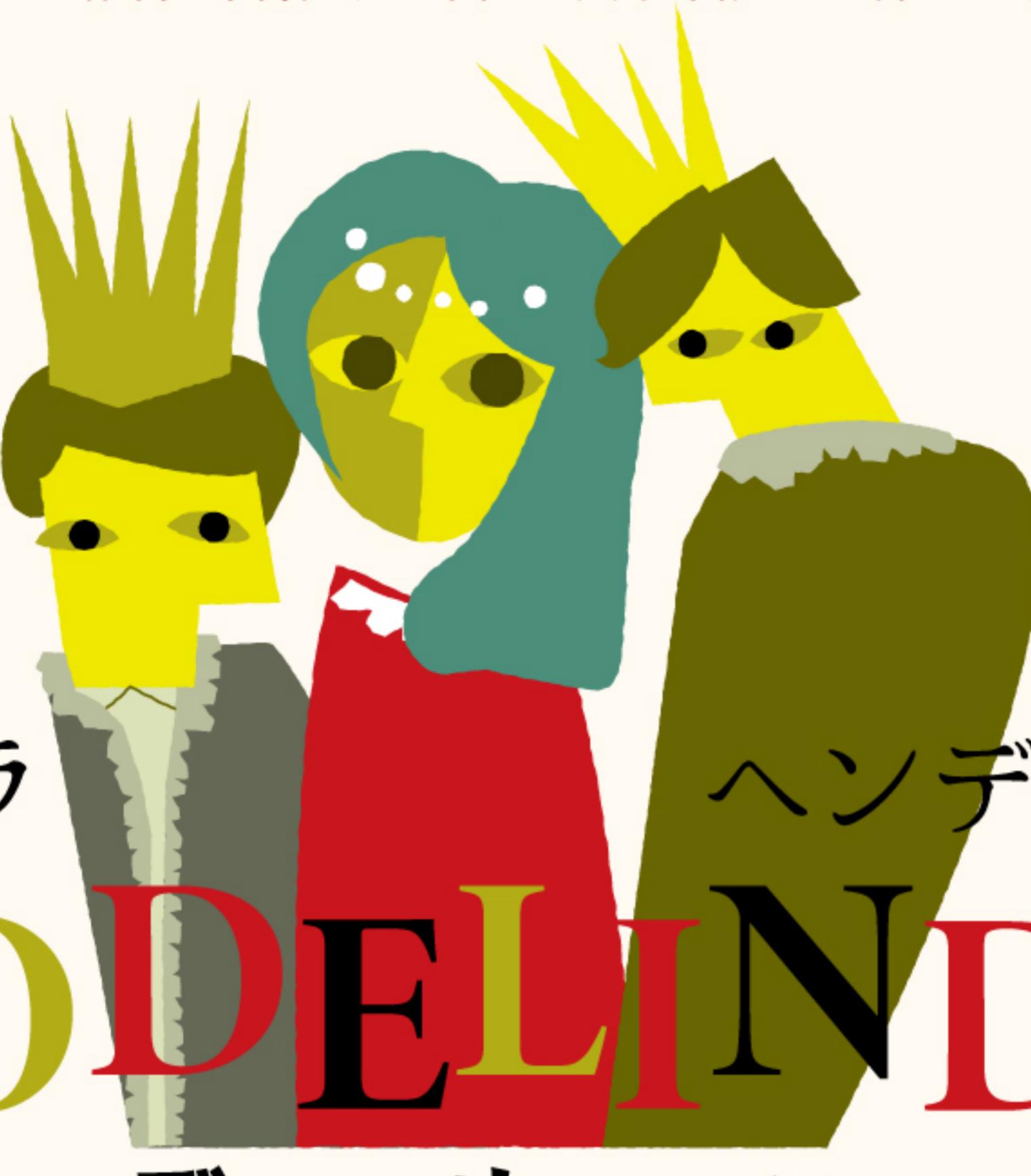


初演300年記念の年に贈るヘンデルの名作!  
指揮・寺神戸亮×演出・小野寺修二の待望の再タッグで上演!



[セミ・ステージ形式/  
イタリア語上演・日本語字幕付]

# オペラ ヘンデル作曲 RODELINDA ロ デ リ ン ダ



指揮・ヴァイオリン  
寺神戸 亮

演出  
小野寺修二  
(カンパニーデラシネラ)

ロデリンダ  
ロベルタ・マメリ  
ソプラノ

ベルタリード  
クリントファン・デア・リンデ  
カウンターテナー

グリモアルド  
ニコラス・スコット  
テノール

エドゥイジエ  
興石まりあ  
メゾソプラノ

ウヌルフォ  
中嶋俊晴  
カウンターテナー

ガリバルド  
大山大輔  
バリトン

ダンサー 崎山莉奈／大西彩瑛

2025

11.28 金  
17:00 開演  
(16:20 開場)

11.30 日  
14:00 開演  
(13:20 開場)

北とぴあ さくらホール

JR京浜東北線王子駅北口  
東京メトロ南北線王子駅5番出口より徒歩2分



全席指定(税込)

SS席 S席 A席

金曜は500円引き!

(25歳以下券をのぞく)

一般	9,500円	7,500円	5,500円
北区民 <sup>※1</sup> ほくとぴあメンバーズ <sup>※2</sup>	8,500円	6,500円	4,500円
25歳以下 <sup>※3</sup>	4,500円	3,500円	2,500円

管弦楽 レ・ポレアード (ピリオド楽器使用)

※1 東京都北区にお住まいの方は、割引価格で購入できます(お一人様4枚まで)。販売はほくとぴあチケットオンライン(要事前登録)、北とぴあ1階チケット売場のみ。窓口では北区在住を確認できるもの(免許証、保険証など)をご提示ください。

※2 ほくとぴあメンバーズ…年会費1,500円 どなたでもご入会いただけます。

※3 25歳以下券の方は入場時に生年月日が分かるもの(保険証、学生証など)をご提示ください。

● 車椅子で鑑賞をご希望の方は発売日より下記お問い合わせ先にてご予約ください(数に限りあり/SS席・S席のみ)。

チケット取扱い ▶ほくとぴあチケットオンライン <https://p-ticket.jp/kitabunka>  
▶北とぴあ 1階チケット売場  
●窓口のみ  
(10:00~20:00/臨時休館日は10:00~18:00/全館休館日は休業)



- ▶チケットぴあ (Pコード: 300-661) <https://t.pia.jp/> ●セブン-イレブンで直接購入
- ▶e+(イープラス) <https://eplus.jp/> ●ファミリーマートで直接購入
- ▶カンフェティチケットセンター [www.confetti-web.com/](http://www.confetti-web.com/)  
●電話予約 050-3092-0051 (平日10:00~17:00)

◆主催・制作・問い合わせ: 公益財団法人 北区文化振興財団 03-5390-1221(平日9:00~17:00) ◆共催: 東京都北区 ◆後援: 東京都北区教育委員会

◆助成: 文化庁 令和7年度 文化芸術創造拠点形成事業 / 公益財団法人 三菱UFJ信託芸術文化財団 / 公益財団法人 野村財団

7/8 木  
一般発売

# オペラ RODELINDA ロデリンダ

Rodelinda, Regina de' Longobardi

作曲: ジョージ・フレデリック・ヘンデル

台本: ニコラ・フランチエスコ・ハイム

原作: ピエール・コルネイユの悲劇

「ペルタリト:ロンバル王」に基づくアントニオ・サルヴィの台本

初演: 1725年(ロンドン/ハイマーケット国王劇場)

ヘンデルの数多のオペラから作品を選ぶのは至難の技です。なぜならどれをとってもそれぞれに魅力溢れる作品だからです。《リナルド》に統いて本音楽祭でヘンデル第2弾として《ロデリンダ》を取り上げることにしたのは、一重にその音楽の美しさからです。以前にヘンデルのオペラから一作選ぶなら、ということでざっと主要な作品に目を通したことがあります。その際に特にアリアが粒揃いで際立っている、と感じたのが《ロデリンダ》でした。時に理解に苦しむ部分もあるストーリーですが、それは裏に政治的意図があってのこと。その辺りも含めて私自身もこれからもっと深読みをしてこの作品の魅力に迫りたいと思います。《ウリッセの帰還》で素晴らしい演出をしてくださった小野寺さんにラブコールを送り続け、ついに実現いたしました。どんな玉手箱を開けてくださるのでしょうか、お楽しみに!

寺神戸 亮

『ロデリンダ』と出会うにあたって、曲を聴くよりも先に翻訳された歌詞から読みました。ロデリンダはなぜ突然、子どもを差し出すと言いましたのか、ペルタリードはなぜロデリンダを恨めしく責め立て続けるのか、グリモアルドはなぜロデリンダにそこまで惚れ込んだのか。登場人物は皆、極端から極端に揺れ動き、外野からは到底ついていけない激情の嵐。一体どういうことかと思ったのですが、改めて旋律を込みで聴いてみると、不思議と理屈は通り、裏に隠された各々の心が浮かび上がってきました。ソロのアリアが多いオペラですが、繰り返しも1回目と2回目とは違う意味合いに感じられ、聞き入るばかり。どの曲も本当に美しく心に沁みるフレーズで、各キャラクターはそれぞれに魅力的です。

今から稽古、そして本番が本当に楽しみです。

小野寺修二

ものがたり

王座を追われたロンゴバルド王ペルタリードは家族を守るために自分を死んだことにし、姿をくらませる。彼の死を信じ悲しむ王妃ロデリンダと息子のフラヴィオは、ペルタリードから王位を奪ったグリモアルドの監視下におかれてしまう。するとグリモアルドはロデリンダに結婚を迫る。当初は拒絶していたロデリンダだが、子供を守るためにやむを得ず結婚を承諾することに。ところが胸の内を知らないペルタリードはこの事態を妻の不実と誤解する。その後家族は束の間の再会を果たし誤解も解けるが、ペルタリードは捕らえられてしまう。最終的に脱獄したペルタリードは慈悲深く宿敵グリモアルドを許す。そしてペルタリードが王位と家族を取り戻し、喜びのうちに幕となる。

## ◆寺神戸 亮 (指揮・ヴァイオリン) Ryo Terakado



©C. Villarroel

ボリビア生まれ。バロック・ヴァイオリンの第一人者としてソリストとして活躍するほか、レザール・フロリサンをはじめヨーロッパを代表する古楽アンサンブルやオーケストラのコンサートマスターを歴任。1995年、第1回北とびあ国際音楽祭におけるパーセル《ダイドーとエナス》で指揮者デビュー。以降、ラモー《エベの祭典》、モンテヴェルディ《オルフェーオ》、パーセル《妖精の女王》、モーツアルト《ドン・ジョヴァンニ》、リュリ《アルミード》などの指揮で絶賛を博し、日本でも最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。2015年度、第45回東燃ゼネラル音楽賞(洋楽部門本賞)受賞。デン・ハーグ王立音楽院教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授、ブリュッセル王立音楽院客員教授を務める。ベルギー在住。

## ◆小野寺修二 (演出) Shuji Onodera



©K. Miura

演出家。カンパニーテラシネラ主宰。日本マイム研究所にてマイムを学ぶ。1995年~2006年、パフォーマンスシアター水と油にて活動。その後、文化庁新進芸術家海外研修制度研修員として1年間フランスに滞在。帰国後、カンパニーテラシネラを立ち上げる。マイムの動きをベースとした独自の演出で世代を超えた注目を集めている。第3回日本ダンスフォーラム賞受賞。第18回読売演劇大賞最優秀スタッフ賞受賞。北とびあ国際音楽祭では、2018年にオペラ『ウリッセの帰還』を演出。その他の近年の主な演出作品は、現代能楽集IX『竹取』(2018年世田谷シアタートラム他)、『国際共同制作 TOGE』(2021年/神奈川芸術劇場)、『ふしぎの国のアリス』(2022年新国立劇場他)など。また、東京芸術祭2022野外劇『嵐が丘』を発表するなど、劇場内外にとどまらないパフォーマンスにも積極的に取り組んでいる。2015年度文化庁文化交流使。



## ◆レ・ボレアード (管弦楽/ピリオド楽器使用) Les Boréades

北とびあ国際音楽祭から生まれた古楽オーケストラ。指揮の寺神戸亮を筆頭に古楽のスペシャリストが集結、特にモーツアルトやフランス・バロックの演奏に定評がある。レ・ボレアードとはギリシア神話に登場する北風の神々で、北区から文化の風を吹き起こそうというメッセージがこめられている。※ピリオド楽器(作曲当時の状態に復元した楽器)を用い、楽器だけでなく作曲家、またその当時の歴史的背景にも深い研究を重ね、現代の発想も交えて演奏することで、より生き生きと作品の持っている本質に迫った演奏ができる特徴がある。

## ◆スタッフ Staff

照明: 三浦あさ子 美術: 松岡 泉 / 石黒 猛 衣装: 今村あづさ 映像: 須藤崇規  
演出助手: 藤田桃子 舞台監督: 大平久美 イラスト: チャーハン・ラモーン

## 託児サービス



北とびあ国際音楽祭の  
情報を発信中!

@HIMF\_info

北とびあ  
国際音楽祭  
特設ホームページ  
北とびあ  
国際音楽祭2025  
全公演の情報は  
こちらで紹介!

ほく  
北とびあ

東京都北区王子1-11-1  
JR京浜東北線王子駅北口  
東京メトロ南北線王子駅  
下車徒歩2分



※未就学児の入場はお断りしております。

※託児サービス(未就学児対象・有料・先着順)をご希望の方は、  
チケット購入後11/21(金)までに  
イベント保育Kidventure 03-4500-5780(平日10:00~17:00)  
または右記コードよりお申し込みください。

※やむを得ない事情により出演者・スタッフを変更する場合があります。  
公演中止の場合を除き、払い戻しは致しかねますのであらかじめご了承ください。

※場所により字幕や舞台が見づらいお席もございます。

※開演中に入場される場合は、お求めいただいたお席ではなく、係員がご案内するお席でご鑑賞いただきます。  
入場までしばらくお待ちいただく場合もございますのでご了承ください。

※会場内での許可のない写真撮影・録音・録画などはお断りしております。

お問い合わせ (公財)北区文化振興財団 / 03-5390-1221 (平日9:00~17:00)  
► <https://kitabunka.or.jp/>